

ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等一覧（県民部会）

所 属	役 職	氏 名	令和 6 年度の 3 R に向けた活動状況	令和 7 年度の 3 R に向けた活動目標
山形県連合小学校長会	副会長	吉田 健志	1 ペーパーレス化の推進 - デジタル化による各学校における印刷・コピー枚数の削減 - 職員会議等での P C 持ち込みによる電子データでの資料提示 - 保護者や児童へのアンケート、研修会後の振り返り等をスマートフォン・タブレット入力による回答方法へ変更 - 授業や家庭学習での I C T 機器利用促進による紙資源節約 - 研究紀要のデジタル化による紙資源節約 - 裏紙の積極的な活用による紙資源節約 その他 2 総合的な学習の時間での 3 R につながる探究活動 - 地域のまちや川、公園等のごみを減らす活動 - プラスチックごみを減らす活動 その他 3 P T A や子ども育成会、児童会等によるリサイクル・リユース活動の推進 - 資源回収 運動着等のお譲り会 プルタブ、牛乳パック等の回収 その他 4 給食の残菜・残飯を減らす取り組み - 給食センターの方からの講話 残菜減量週間等の取り組み その他 ※取り組み紹介は、別添資料 1－2 のとおり。	引き続き、左記の取り組みを行っていく。特に 1 や 3 については、更に意識化を図り推進していく。
公募委員		天野 葉月	9 月開催「環境フェアつるおか2024」へ参加 地球温暖化について子どもが楽しく学べるクイズや、手回し発電機で通常の電球と LED 電球の回す力の違いを体感してもらう活動を行った。 10 月開催「やまがた環境展2024」へ参加 ペットボトルキャップを使ったマグネット作りや、山形県環境企画課 SNS の登録呼びかけを行った。 - 買い出しの際はマイバッグを持ち歩き、レジ袋の購入・使用を抑えた。 - 製造過程における CO2 排出抑制や、再生利用された商品等を積極的に購入した。	山形学生環境ボランティアとして地球温暖化の現状や、環境を良くする身近な取り組みを周知してもらえるよう活動を推進する。

所 属	役 職	氏 名	令和 6 年度の 3 R に向けた活動状況	令和 7 年度の 3 R に向けた活動目標
南陽市消費者の会	会 長	板垣致江子	1 資源の見直しバザー 市広報誌等でバザー提供品を募集し、市農業祭に出店する形でバザーを行った。 2 フードドライブ バザー募集の時期に合わせて、家庭で食べきれない食品を集め、市内の地域食堂や社会福祉協議会に寄付するフードドライブを行った。	令和 6 年度と同様の活動を継続（予定）
山形市	環境部長	板垣 裕子	- 資源回収推進事業によりごみ減量と再資源化を図った。 - 生ごみ処理機等の購入に対して補助を行い、生ごみ減量とたい肥化による循環利用を促進した。 「乾燥生ごみと野菜等の交換事業（生ごみやさいクル）」により、たい肥化が容易でない乾燥式生ごみ処理機の生成物（乾燥生ごみ）の再資源化と循環利用、ごみ減量を推進した。 - 雑がみ回収広報袋を配布したほか、資源物引取事業所の周知により、紙類・布類 等の再資源化を推進した。 - 事業所から排出される古紙類の再資源化の取組み（お古紙くდაさいリサイクルシステム）について広報を行った。 - 小型家電リサイクル事業により、使用済小型家電の回収及び再資源化を行った。 - レジ袋削減を推進するため、スーパー等の協力を得て買い物客のマイバッグ持参率を調査し、その実績を広報した。 - フリマアプリ「メルカリShops」を活用した、市の不用品やイベントで市民から持ち込まれた家具等の出品・売却により、市民のリユースへの意識啓発を行った。 - ブックオフの宅配買取寄附サービス「キモチと。」に山形市のプログラムを開設し、市民の使い終わった本やCDをブックオフが回収し、その査定額相当額が市の地球温暖化対策事業に寄附される取組を開始し、市民のリユースを促進した。 - 市民、事業者、行政が一体となってごみ減量とリサイクルを推進している市民団体「ごみ減量・もったいないねット山形」の活動支援を行った。 - 同市民団体と連携し、食品ロス削減のため、30・10運動（家庭編、宴会編）の実践の推進について広報を行った。 3 R啓発用動画を山形市公式YouTubeに公開し、ごみ減量ワンポイントを啓発した。	- 令和 6 年度と同様の活動を継続（予定） - 食品ロス削減推進計画策定（予定）

所 属	役 職	氏 名	令和 6 年度の 3 R に向けた活動状況	令和 7 年度の 3 R に向けた活動目標
NPO 法人環境ネット やまがた	主 任	河合 麻衣	1 コピー用紙の削減 当法人は環境省環境マネジメントシステム「エコアクション 2 1」の地域事務局の認定を受けております。また当法人では「エコアクション 2 1」を認証取得しており、環境負荷削減の活動として、紙使用量の削減等に取り組んでおります。 ① コピー用紙使用枚数、紙ゴミを毎月計測しており、資源回収に出しております。 ② メールマガジン、フェイスブック、ホームページを活用しイベント等の周知を行い、紙（チラシ）の削減等に努めております。 ③ オンライン会議やセミナーを開催する際は、資料データを PDF で配布しコピー用紙の削減に努めております。 2 「ストップ温暖化エコカップやまがた」活動事例発表会を開催 10月19日（土）山形ビッグウイングを会場に開催しました。 応募頂いた、県内の温暖化防止活動や廃棄物削減等の活動情報を収集した冊子を作成しております。 3 「やまがた環境展2024」出展 当法人が事務局の「山形県環境保全協議会」、「山形県地球温暖化防止活動推進センター」で出展しました。 4 クリーンアップ活動 山形県環境保全協議会（事務局 NPO 法人環境ネットやまがた）の事業で由良海岸の「クリーンアップ活動」を開催しました。 日時：令和 6 年 9 月 14 日（土）9 時 00 分～12 時 00 分 会場：由良海岸（クリーンアップ活動） 人数：41 名 内容：スポ G O M I（クリーンアップ活動）、研修会（アップサイクル事業の紹介、実演、意見交換会）を開催しました。66 kg ゴミを回収しました。 5 30・10 運動の実施 環境ネットやまがた「20 周年記念式典」懇親会において 30・10 運動を実施しました。 日時：令和 6 年 3 月 16 日（土）17 時 00 分～ 人数：31 名 ※ 詳細は資料 1－3 のとおり。	令和 6 年度同等の活動を予定。

所 属	役 職	氏 名	令和６年度の３Ｒに向けた活動状況	令和７年度の３Ｒに向けた活動目標
公募委員		小関 恵子	・ マイボトル・持ち帰り容器・エコバックを持参。 ・ 家庭ごみや、職場で出るごみを減らす。（水切りや分別の徹底） ・ プラスチック製品を安易に購入しない。 ・ 印刷物の削減、裏紙の再使用、使用後は資源回収を利用。 ・ 会議時の資料はパソコンで対応し、ペーパーレス化。 ・ 海岸のクリーンアップに参加し、海洋ごみの回収と分別。 ・ 海岸で拾った流木やプラスチックごみでの制作活動。海洋教育の一環として鶴岡市内の小学生や、一般の方への体験学習として提供。	令和７年度も引き続き令和６年度の活動を継続し、それに加えて野菜や果物の規格外やはじかれたものなどを、有効に利用する活動に関わっていきたい。
山形県中学校長会	会 員	笹原美百紀	1 印刷物のリユースとリサイクル 2 会議資料のペーパーレス化（パソコン、タブレット使用） 3 授業・家庭学習の課題をタブレット配信にすることで紙資源の節約 4 給食の食べきり、残菜・残飯を減らす取組（配膳の段階で盛り切る） 5 生徒会・委員会活動による取組（給食委員会・整美委員会・広報委員会等） 6 リサイクル運動（牛乳パック回収、ペットボトルキャップ回収など） 7 新聞の活用（新聞紙で鏡・窓などの清掃） 広告チラシの活用（ゴミ箱作り） 8 総合学習で資料活用・SDGsについて探求学習をすることでの啓蒙活動	・ 安全・健康面に配慮しながら令和６年度と同様に県内各中学校でエコ活動を推進していく ・ ごみが出る前（ごみを出さない、ごみにしない）に目を向けていく活動を重視し８（左記）のような取組にも力を入れていく
山形県ＰＴＡ連合会	母親委員長	高橋あゆみ	・ 山形県ＰＴＡ連合会理事会（役員会）や山形県ＰＴＡ連合会母親委員会でごみゼロに関するパンフレット、フードドライブのチラシ、環境展のチラシなどでごみの削減を呼び掛けました。 ・ 会議会食時の食べ残しがなくなるよう呼びかけました。 ・ 母親委員会のお便りで体育着や制服等のお譲り会をしている学校の紹介をしました。（県内小中学校児童・生徒のいる家庭に配布）	・ 令和６年度同様の活動を予定しています。

所 属	役 職	氏 名	令和6年度の3Rに向けた活動状況	令和7年度の3Rに向けた活動目標
NPO法人みらい子育てネット山形	理事長	細谷 由紀	・ 地域に呼びかけた、フードドライブを2回開催し、集まった食品や日用品を必要とする方にお分けした。JA東根よってけポポラ様より、一週間に1回捨ててしまうような規格外の野菜や多く収穫できた野菜などを譲り受け、必要とする方にお分けした。 ・ 頂いた野菜などで多いものは、冷凍保存するなどして最後まで使い切るようにした。 ・ 集まりがあるときには3010運動の話をして、実行していただくようにした。 ・ フードパントリーの際におさがり会も行い、リユースについて考えたり、実際にリユースできるようにした。 ・ 会議用資料や事務処理用の用紙は裏紙を使うようにした ・ オンラインで会議を行い、ペーパーレスやCO2を減らすようにした	・ 前年度と同じ活動を考えております。
舟形町衛生組合連合会	会 長	山崎 和男	・ 小型家電および古着等のイベント回収の実施（年2回4月・10月） ・ 集団資源回収の奨励 ・ 各地区の衛生ステーションの管理 ・ 衛生組合長による地域住民へのごみ分別・減量化についての周知・指導 ・ 町衛生組合長を対象とした、衛生活動に対する思想の普及や見聞を広げるためのごみ処理施設への視察研修	・ 令和6年度と同様に、3R推進を継続して行っていく予定
山形県保育協議会	副会長	山本 幸子	・ ICTの導入で、ペーパーレス会議や通信等の取り組み。 ・ 研修要綱周知をメール配信し、印刷、郵送に関わる紙の削減。 ・ 献立の工夫や、栄養バランスを考えたバイキングの取入れた給食の取り組み。 3Rの周知 ・ 資源回収やリサイクルごみの活用などの検討 ・ 幼児からのごみ削減や再利用など、体験しながら学ぶ。（工作、ゴミの分別） ・ ランチルームに「ごみゼロくん おいしく残さず食べ切ろう！」ポスターを提示し、保育士の声掛けを行うなど、食育活動の一環として、食品ロスについても絵本を使うなどし、子ども達にも、興味関心をもたせる。（食べられる分だけ盛り付ける。）	・ 引き続き取り組みを行うとともに、会員への周知を行い、3Rの意識向上を推進していく。